

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2007/3/26 駐在員：山川 祐司

年度末を迎えて

この冬、ランシング市近辺での降雪量は例年よりも少なかったようですが、寒さの方はかなり厳しく、2月には最高気温が氷点下という日が続きました。しかし、3月中頃になると、1月中旬から絶えず道端などに残っていた雪も完全に姿を消しました。寒暖の波を経つつも、ここ1～2週間は、日中半袖になって歩く人の姿も時折見かけます。

標題では日本での時節感覚を踏まえて「年度末」と表記しましたが、こちらでは自治体や大学など団体によって年度の開始日は一定でなく、3月という月に日本におけるような節目の意味を見出せる訳ではありません。

しかし、3月11日(日)の午前2時には夏時間への移行があるなど、また違った形で季節の移ろいを感じたところでもあります。前夜(土曜日)の就寝前に時計を1時間早めておくケースが一般的なようで、当日の新聞には注意喚起の記事も見られました。ミシガン州はニューヨークと同じ東部時間に属しており、-14時間だった日本との時差は、これ以降-13時間となっています。(11月第一日曜日の午前2時まで)



3月26日(月)午後6時頃のランシング市内の様子です。日に日に遅くなる日没時刻も、冬の終わりを感じさせます。今は午後8時頃には暗くなりますが、夏になると、午後9時代まで、この写真のような明るい状態が続くようになります。